

(別紙1)

令和7年度～令和9年度 社会福祉法人あゆみの会社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人あゆみの会		法人番号	6030005008988				
法人代表者氏名	理事長 浅川 弘子							
法人の主たる所在地	埼玉県ふじみ野市上福岡三丁目11番3号							
連絡先	埼玉県ふじみ野市上福岡三丁目11番3号							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	<p>令和7年4月15日 地域代表 新井正一様への説明 交通弱者対策が地域課題でありデマンド交通の停留場を設置してほしいとの要望あり</p> <p>同地は荒川右岸土地改良区の受益地には当たらないことを確認</p> <p>令和7年6月30日 同地区選出市会議員 川口啓介議員に計画を説明、非常に高評価があり是非、実現に向け動いてほしいとの意見がある。</p>							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和7年8月4日							
評議員会の承認年月日	令和7年8月29日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (令和6年度末現在)	1か年度目 (令和7年度末現在)	2か年度目 (令和8年度末現在)	3か年度目 (令和9年度末現在)	4か年度目 (令和10年度末現在)	5か年度目 (令和11年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	136,500	136,500	136,500	0	0	0		
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		0	0	136,500	0	0	136,500	
本計画の対象期間	令和7年10月～令和9年3月 (予定：農地転用の進捗により後年度となる可能性あり)							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規 の別	事業概要	施設整備 の有無	事業費
1か年 度目	ロコタウン 建設	社会福祉事業	新規	農振除外申請、農地転用、市 民緑地制度等、土地の使用に ついて検討・申請	無	0
	小計					
2か年 度目	ロコタウン 建設	社会福祉事業	新規	農振除外申請、農地転用、市 民緑地制度等、土地の使用に ついて申請 土地 使用承認後、建物の基本 設計を行う	無	0
	小計					
3か年 度目	ロコタウン 建設	社会福祉事業	新規	土地 使用承認後、入札により 業者を選定し児童発達支援事 業所・子育て支援センター(伊 佐沼すまいる保育園子育て支 援センターを発展)等の建設	有	150,000,000
	小計					
4か年 度目						
	小計					
5か年 度目						
	小計					
合計						150,000,000

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業	児童発達支援事業所、子育て支援センター設置(移設)(第二種社会福祉事業)
② 地域公益事業	①の取り組みを実施する結果、残額は生じないため実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	①及び②の取り組みを実施する結果、残額は生じないため実施はしない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
板橋保育園 開園事業	計画の実施期間における事業費合計	0	0	150,000,000	0	0	150,000,000	
	財源構成	社会福祉充実 残額	0	0	136,500,000	0	0	136,500,000
		補助金	0	0	0	0	0	0
		借入金	0	0	0	0	0	0
		事業収益	0	0	0	0	0	0
その他	0		13,500,000	0	0	13,500,000		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	社会福祉総合タウン（LOCOタウン）の建設
主な対象者	児童発達支援事業所利用者（利用定員10名）、子育て支援センター利用者（年間3,000名） その他、地域交流拠点（いさぬマルシェ）・農業体験エリア（アグリマルシェ）
想定される対象者数	年間3,000人
事業の実施地域	埼玉県川越市古谷上
事業の実施時期	令和7年10月27日～令和9年3月31日
事業内容	<p>1. 計画の主旨</p> <p>当法人は2011年、認可保育園伊佐沼すまいる保育園を開園、令和2年同高階すまいる保育園を開園し、子育て支援に取り組んで参りました。この度、伊佐沼すまいる保育園の周辺の自然環境と地域資源を活かし、世代を超えて支え合う地域共生社会を実現するため、下記のとおり伊佐沼すまいる保育園の隣地の農地を活用した「LOCOタウン」の整備について計画いたします。</p> <p>本計画は、農地活用・子育て支援・障がい児支援・高齢者支援・地域交流を融合させた、川越市における新たな地域福祉モデルとなることを目指すものです。</p> <p>2. 背景と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園と児童発達支援事業所の連携強化・融合による一体型の支援 ・ 子育て支援センターの充実による子育て世帯の支援 ・ 農業後継者不足による農地の遊休化の有効活用

- ・ 高齢化に伴う「交通弱者」の増加に対する措置
- ・ 子育て世帯と高齢者・障がい者の交流機会減少
- ・ 地域内の買い物・文化交流機会の設置

3. 計画概要

(1) 施設構成

○ LOCO カフェ（子育て支援センター）：

現伊佐沼すまいる保育園に併設されている子育て支援センターを別棟として移築、カフェ機能を強化する。福祉カフェを併設し、子育て中の保護者の方、子どもたちがゆったり、伸び伸びと過ごせる環境を提供する。育児相談、親子交流、福祉カフェ、絵本読み聞かせ、こども食堂、フードパントリー等、様々な福祉活動の拠点とする。

○ 児童発達支援事業所「ロツ子」

利用定員 10 名 認可保育園と児童発達支援事業所を隣接し保育と療育の交流等による相乗効果、自然の中で地域の方とも交流できるオープンな環境での児童発達支援を行う。

○ いさぬマルシェ

地域の交通弱者の方のため移動図書館・移動コンビニ、地域イベントを定期的で開催、地域の方が訪れることのできる居場所とする。伊佐沼すまいる保育園、児童発達支援事業所の児童、子育て支援センター等の利用者と交流。地域参画型の市場とする

○ アグリマルシェ

農地を活かし、農業振興を図るため、市民農園や農業体験等を行う場

○ デマンド型交通乗降所

高齢者・子育て世帯の移動支援、観光資源との連動

(2) 土地活用

対象地：伊佐沼すまいる保育園隣接地（約 2,229 m²農地）

一部農地転用し施設建設を模索、残地は市民農園・農業体験場に活用

4. 期待される効果

- ・ 埼玉県内の福祉モデルタウンとして全国に発信
- ・ 福祉を通じた地域連携・活性化、地域課題の解決

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認可保育園と児童発達支援事業所との連携強化 ・ 子育て支援拠点の充実による子育てネットワークの形成 ・ 交通弱者の生活支援 ・ 防災拠点としての機能確保 ・ <p>5. 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地の活用の可能性、農地転用 ・ 地域交通施策との連携 ・ 市計画・補助制度への位置付け ・ 市民周知・広報協力 <p>6. 今後の進め方（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会設置（市・地権者・法人） ・ 基本構想・事業計画の策定 ・ 土地の使用に向け農地転用・建築計画手続 ・ 着工・開設（令和9年度目標） 			
事業の実施スケジュール	1か年度目	令和7年度 農振除外申請、農地転用等、土地使用に向けての申請		
	2か年度目	土地使用承認後、基本設計・入札による建物の構築		
	3か年度目	施設の建設		
	4か年度目	施設運営開始（児童発達支援事業所・子育て支援センター）		
事業費積算 (概算)	(2) 収支計画（概算）			
	(1) 児童発達支援事業所（ろっ子）			
	項目	金額	項目	金額
	建 物	50,000,000 円	社会福祉充実残額	75,000,000 円
	その他経費	25,000,000 円		
	合 計	75,000,000 円	合 計	75,000,000 円
(2) 子育て支援センター（LOKO カフェ）				
項目	金額	項目	金額	
建 物	50,000,000 円	社会福祉充実残額	61,500,000 円	

	その他経費	25,000,000 円	自己資金	13,500,000 円
	合 計	75,000,000 円	合 計	75,000,000 円
合計		150,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 136,500 千円)		
地域協議会等の意見とその反映状況	地元市会議員、地域の方に構想を説明、大きな賛同と期待を寄せられている。地域交流拠点としていさぬマルシェの設置、デマンド型交通について要望有。			

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由